

教育課程上の位置付 総合的な学習の時間

## 実施概要

当校は、幼稚部から高等部まである多摩地区唯一のろう学校で、聴覚障害教育の専門性に関する伝統が脈々と受け継がれており、聴覚障害教育のセンター的機能を発揮しています。

社会貢献活動の相手である施設側のサンライトとの交流は初めてとなります。今回は、高等部1年生が総合的な学習の時間の一環として交流を行うことにしました。

サンライトは、設立してまだ1年半と新しく、地域交流もこれからという施設でした。

今回の社会貢献活動は、対象が高齢者で“ジェスチャー”などにテレビで馴染んだ世代であることから、ろう学校ならではのパントマイムや手話を交えた合唱などを行うことにしました。また、進行のタイミングなどは、プロジェクターを使用して進行内容をスクリーンに拡大して写し出すことにより、利用者の方にも分かり易くしました。ダンス及び手話合唱、パントマイムと、サンライトの利用者の方と一緒に楽しみながらの社会貢献活動となりました。



おばあちゃん、風船投げて

## 活動報告 実施日：12月5日(月)

この施設との交流は、当校初めての訪問による社会貢献活動になります。今回は、ろう学校として、身体で表現するダンス、パントマイム及び手話合唱を多く取り入れた交流になりました。

司会進行はすべて生徒が行い、手話通訳として教員が補助を行いました。手話をしながらの合唱については、先ず、利用者の方に歌詞を手話で練習していただき、手話を理解していただくようにしました。風船ゲームなどは、利用者の方々がはね上げた風船がよそに飛ばないようにサポートする生徒の姿が随所に見られ、利用者には生徒の楽しんでいただこうという思いと熱意を感じていただいたようです。

活動参加者 内訳 当校生徒…23人 引率教員…7人  
交流先 利用者…65人 担当職員…15人

交通手段 当校とサンライトの距離はおよそ500m  
徒歩で約6～8分

## 当日のスケジュール

- 13:30 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委4者打合せ
- 14:00 交流開始(学校側：挨拶 副校長 生徒司会「始めの言葉」)
- 14:05 ダンスなどの演技3曲 ①世界で一つだけの花、②おどるポンポコリン、③BANG BANG BANG
- 14:15 合唱「ふるさと」手話を交えて行う
- 14:30 風船ゲーム(A・B・Cチームに分かれて行う)
- 14:40 パフォーマンス(パントマイム)「鏡 ガムの一生」
- 14:50 ダンス JOY
- 14:55 閉会の挨拶(浴光会理事長) 終了

## 活動のために準備したもの

- 唱歌「ふるさと」の手話表現 ● パフォーマンス用の小道具、大道具
- ビニールテープのボンボン ● 風船
- オリピック、パラリンピックを詠んだ川柳のしおり

## 工夫したところ

- 生徒が利用者とふれあい、一体感が生まれるようにした。

## 実施にあたって注意したところ

生徒たちの活動を、関係者の皆さんにできるだけ温かく見守っていただけるようにと次のような創意工夫をしました。1) 唱歌「ふるさと」を歌う際に、利用者の方々に手話の柔らかさ、優しさが伝わるような表現を考えた。2) 風船ゲームで利用者の方々と生徒が直接関わることで、聞こえない生徒たちの優しく、細やかなおもいやりを実感してもらった。3) ダンスを披露する際に、利用者の方々にもボンボンを振ってもらって、会場に一体感が生まれるようにした。

## 良かったと思うところ

普段お年寄りとのふれあいの少ない生徒たちが、多くの方々と交流し、喜びを感じられたことは、長い目で見て、大変貴重な体験になったと考える。

## 今後に向けての学校からの抱負

ろう学校の生徒が、ろう者と交わった経験の少ない方々の所へ出向いて活動するということは、健聴者の社会を実感する機会であるとともに、自分の障害を客観視する良い機会でもある。まして、その場所で自分たちの活動を、人々が楽しんでくださったという社会貢献活動の経験は、自分の生き方を考えていく上での力になるのではないかと考えられるので、今後も、学校としてできる活動を模索していきたい。

## 活動の感想

## 生徒・教員の感想

## 生徒

- 施設のお年寄りたちが喜んでくださるような社会貢献の活動ができて良かった。菓をプレゼントできたのが良かった。
- たくさんのお年寄りがいらっしやっただけで、初めはとても緊張したが、だんだん気持ちを切り替えて、楽しくできた。手拍子をしてくださったり、ボンボンを振ってくださったりしたのが嬉しかった。

## 教員

ほとんどの生徒にとって、たくさんのお年寄りがいらっしやる場に居合わせる体験は初めてのものだったので、大変貴重な時間になったことと思います。これからは、「社会貢献」という文字を目にしたときに自分の体験として思い浮かべる場面があるということが有り難いです。これからも折に触れてこのたびのことを話題にし、「社会貢献」についての生徒たちの考えが深まっていくような取り組みを継続していきます。

## 施設の参加利用者・担当者の感想

## 利用者

- 「若い人と私たちと、上手い具合に連結して、リーダーの方も誘導してくれて、よかったです。」
- 「一番感じたのは、熱意だね。熱意が一番、感じたよ。」
- 「楽しかったです。ありがとうございました。」
- 「みなさん、若い方もいろいろな方も集まっていたら、こういう楽しい会を催していただき、我々も、これからはますます、皆さんのためにも、自分のためにも一生懸命やりたいと思います。ありがとうございました。」

## 施設長

生徒さんの若くて力強いダンスパフォーマンスを間近に観られ、利用者様も手拍子をされるなど、とても楽しんでいらっしやいました。また、観るだけではなく、一緒に手話合唱や、風船によるアトラクションを行い、普段なかなか出来ない体験をされ、利用者様にも多くの笑顔が見られました。このような地域社会との繋がりは、利用者様の生活の活性化にも繋がると改めて感じました。



パントマイムは上手だな



一緒に歌って踊りましょう

## ■ 実施までの経過 ※ (コ) : コーディネーター

- 8月25日 当校と(コ)、学校で第1回打合せ。今まで交流している施設での実施を検討、交流内容を検討する。
- 9月20日 (コ)、これまで交流のない新たな2つの施設を訪問し、支配人及び施設長に協力を依頼。2施設とも快諾いただく。
- 9月26日 当校の副校長と(コ)で、2施設について検討、協議する。また、日時の調整及び交流活動の内容を検討する。
- 10月14日 当校と(コ)で施設を決定し、3者による打合せ日程の調整を行う。学校側の日程によりサンライトに決定し、打診。快諾を得る。
- 10月25日 サンライトにて当校の副校長と担当教員、浴光会の理事長とサンライト施設長、(コ)で社会貢献活動当日の最終打合せを行う。
- 12月1日 当校と(コ)で最終打合せ。担当教員と交流の内容を確認し、当日に至る。

## 交流先

社会福祉法人 浴光会  
特別養護老人ホーム サンライト

住 所：東京都国分寺市西町1丁目31-2

## ■ 施設概要

- 特別養護老人ホーム(全室個室 完全ユニット型) 定員96名
- 短期入所生活介護事業(ショートステイ) 定員12名